

令和3年度 病害虫発生予察情報

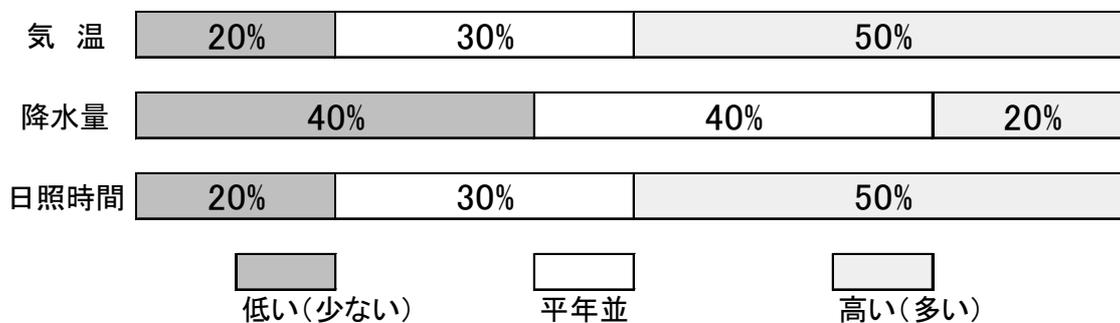
発生予報第6号（8月）

令和3年8月2日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量	
普通作物	イネ	穂いもち	やや多い	
		紋枯病	やや少ない	
		白葉枯病	少ない	
		ニカメイチュウ	平年並	
		ツマグロヨコバイ	やや少ない～平年並	
		セジロウンカ	やや多い～多い	
		トビイロウンカ	やや少ない～平年並	
		コブノメイガ	やや少ない～平年並	
		斑点米カメムシ類	やや多い～多い	
		果樹	ダイズ	ハスモンヨトウ
果樹	ナシ	黒斑病	やや少ない～平年並	
		シンクイムシ類	平年並～やや多い	
		ハダニ類	やや多い	
		カメムシ類	平年並	
		カキ	うどんこ病	やや少ない
		カキミガ	平年並	
野菜	アブラナ科野菜	カメムシ類	平年並	
		ハスモンヨトウ	平年並	

中国地方1か月予報（7月31日～8月30日・広島地方气象台7月29日発表）
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞



A. 普通作物

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査（70ほ場）では、一部地域で葉いもちの発生が多く、発生ほ場率が15.7%（平年9.1%）、発病株率が8.2%（平年3.2%）と、発生量は平年に比べて多い。
- ② 県内の一部で発病程度の高いほ場も見られ、全般の発生量は平年に比べてやや多い。
- ③ 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査(70ほ場)では、発生ほ場率は4.3%(平成14.7%)、発病株率は0.7%(平成1.9%)と、発生量は平年に比べて少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生(発病株での上位進展)にやや助長的である。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方 県内常習発生地帯
発生量 少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生を認めていない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(4) ニカメイチュウ(第2世代)

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は2.2%(平成5.5%)、被害株率は0.1%(平成0.2%)であり、発生量は平年並みである。
- ② 7月第5半旬までの予察灯における誘殺数は14頭(平成45.7頭)と平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は43.5%(平成53.0%)、捕獲数は4.2頭/50株(平成9.4頭)であり、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 7月第5半旬までの予察灯における誘殺数は27頭(平成122.8頭)と平年に比べてやや少ない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(6) セジロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は93.5%(平成65.3%)、捕獲数は12.2頭/50株(平成18.6頭)であり、発生量は平年に比べて多い。
- ② 7月第5半旬までの予察灯、粘着誘殺灯への誘殺数は58頭(平成31.1頭)と平年に比べてやや多い。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(7) トビイロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%(平成7.5%)、捕獲数は0頭/50株(平成0.43頭)であり、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 7月第5半旬までの予察灯、粘着誘殺灯への誘殺は確認されていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(8) コブノメイガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%（平年10.7%）、被害株率は0%（平年2.9%）であり、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 7月第5半旬までの予察灯、粘着誘殺灯への誘殺は確認されていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(9) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ① 7月下旬に出穂しているほ場でのすくい取り調査では、カメムシ類合計で発生ほ場率は61.9%（平年55.4%）、平均捕獲虫数は6.62頭/20回振り（平年2.83頭）であり、発生量は平年と比べてやや多い。主要種はアカスジカスミカメである。
- ② 7月第5半旬までの予察灯へのアカスジカスミカメおよびアカヒゲホソミドリカスミカメの合計誘殺数は272頭（平年199.6頭）と平年に比べてやや多い。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月始めから現在までのフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部で399頭（平年254.2頭）とやや多く、県西部で50頭（平年215.0頭）とやや少なかった。
- ② ダイズほ場での本種幼虫による被害は県東部・西部とも認めていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 県内ナシ（二十世紀）栽培地帯
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発病葉率10.0%（平年10.9%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① フェロモントラップ（安来市、出雲市）でのナシヒメシンクイ第1世代の雄成虫の誘殺盛期、誘殺数は、ともに平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) ハダニ類

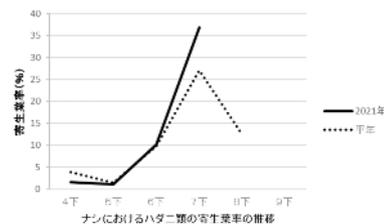
予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、寄生葉率36.8%（平成27年27.0%）であり、発生量は平年に比べてやや多い。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。
- ③ クワオオハダニが見られるほ場も散見される。クワオオハダニに効果の低い薬剤があるので薬剤の種類には注意が必要である。



(4) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 予察灯（出雲市）での7月6半旬までのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシの4種果樹カメムシ類の誘殺数は314頭（平成27年871.3頭）と平年に比べてやや少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、発病葉率5.5%（平成27年4.7%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(2) カキミガ（第2世代）

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 第1世代幼虫による芽及び果実の被害は平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 予察灯（出雲市）での7月6半旬までのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシの4種果樹カメムシ類の誘殺数は314頭（平成27年871.3頭）と平年に比べてやや少ない。
- ② 7月下旬の巡回調査では、カキでの被害果率は0%（平成27年0.0%）と平年並みである。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

C. 野菜

1) アブラナ科野菜

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方	県内全域
発生量	平年並

予報の根拠

- ① 7月始めから現在までのフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部で399頭（平年254.2頭）とやや多く、県西部で50頭（平年215.0頭）とやや少なかった。
- ② 本種幼虫の発生は露地野菜（サトイモ等）やダイズで認めていない。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

農薬の安全使用の徹底を！

- ・ 農薬の使用基準（適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数、最終有効年月）を遵守する。
- ・ 防除履歴（使用日時と場所、作物名、農薬の種類と量）を記帳する。
- ・ 農薬散布時には周辺作物に飛散（ドリフト）しないように注意する。
- ・ 水田で使用する農薬の止水期間を守る。
- ・ 散布後は散布器具の洗浄を徹底し、空き容器は正しく処理する。
- ・ 病害虫の発生状況を把握し、必要最小限の農薬使用に努める。

○病害虫防除所のホームページでは発生予察情報の他、各種情報を掲載しています。

島根県病害虫防除所

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>